

2023年 プログラム近況報告書

エルサルバドル ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



チャイルド・スポンサーの皆さま、ティエラ・ヌエバ地域の子どもたちの輝かしい未来を信じてご支援くださり感謝いたします。皆さまの温かいお気持ちが、彼らの生活に前向きな変化をもたらしています。

エルネスト・ホセ・アンドラーデ
ティエラ・ヌエバ 地域開発プログラム
マネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

59

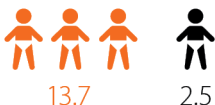
地域の保護者59人が、体罰や心理的虐待によらない、子どもの権利を尊重した子育て方法を学び、子どもたちを虐待から守れるようになりました。

4

4つの地区で、自然災害発生時の対応計画が改訂されました。子どもたちが安全に過ごせるようになり、災害発生時には迅速に対応できるようになりました。

エルサルバドル : 日本 出典：国連開発計画 (UNDP) 2020年、2022年

5歳未満児死亡率
(出生1,000人あたり)



18歳未満の女子1,000
人あたりの出生数



中等教育を受けた女子





「以前私たちは、水を買いに遠くまで行かなければなりませんでした。でもワールド・ビジョンの支援で地域に井戸が作られて、きれいな水を飲むことができるようになりました。水を買いに行く必要がなくなったので、今では、学校に行ったり宿題をしたりする時間になりました」
ヴァレリアちゃん、7歳（中央、青いスカートの女の子）

大きな変化がもたらされています

453

453人の地域住民の家にトイレが設置されました。子どもや家族が屋外で用を足すことができなくなり、病気の拡大防止にもつながっています。

485

485人の地域住民が、家から30分以内のところで清潔な水を得られるようになりました。地域住民、特に女性や女の子が長時間の水くみから解放されています。

2005
開始

2023

2024
終了予定

準備期

地域との関係構築やニーズ調査、計画策定をします

第1期

土台やしくみを作ります

第2期

知識・技術を身につける活動をします

第3期

評価・見直しをしつつ活動を進めます

支援卒業準備期

支援の終了を意識し、活動が持続できるよう整えていきます

支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「収穫した卵を売って、食べ物を 買うことができるようになりました」



「両親と姉と一緒に、農村地域で暮らしています」と話すのは、11歳のケイリンちゃん（写真中央）です。「父はトムロコシや豆を栽培していて、母は専業主婦です。ここにはあまり仕事がなく、私たちの暮らしもあまり良いものではありませんでした」

チャイルド・スポンサーの皆さまの温かいご支援により、そんなケイリンちゃんの生活に変化が訪れます。「家族がワールド・ビジョンの職業訓練に参加して、養鶏の技術を学ぶことができました。ニワトリを13羽と鳥小屋を作る資材の支援を受けました」とケイリンちゃん。「姉と私は、毎朝ニワトリの世話をして卵を集めています」

「今では、自分たちで食べる卵のほか、売る分も収穫できるようになりました。卵を売ったお金で、ほかに必要な食べ物を買うことができます。私たちと同じように、この地域のほかの子どもたちも、このプログラムのおかげで暮らしが良くなっています」



QRコードから、「マイ ワールド・ビジョン」にご登録いただくと、チャイルドと支援地域の情報がご覧いただけます

パソコンからは、トップページの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウントの作成」ボタンからもお手続きいただけます

ご支援により、子どもたちを 取り巻く環境が改善されています

エルサルバドル ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム (SLV-181324)

2022年度 (2021年10月1日～2022年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	27,224,340
前期からの繰越額	896,627
プログラム支援額合計	28,120,967

プログラム支出額	
レジリエントな環境構築プロジェクト	12,806,739
子どもの保護・青少年育成プロジェクト	10,054,751
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	5,199,552
プログラム支出額合計	28,061,042
次期繰越額	59,925

活動内容

レジリエントな環境構築プロジェクト

- 災害リスク管理の強化のための研修
- 家庭における安全な水の供給システムの構築
- トイレ建設を通じた衛生環境整備

子どもの保護・青少年育成プロジェクト

- 安心できる家庭形成・肯定的なしつけ等に関する研修
- 青少年に対するライフ・スキル教育
- 青少年に対する職業訓練
- 子どもの権利への理解・保護・参加を促進するためのアドボカシー

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

*ライフ・スキルとは、問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術のこと。



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

TEL : 03-5334-5351



Eメール : dservice@worldvision.or.jp

ホームページ : www.worldvision.jp